

高鷲の学校史

高鷲小学校が設置されてから、今年で127年目を迎えます。平成15年11月に発行された『高鷲小学校百年誌』の中に碓孝司高鷲村長の祝辞が載っていました。「明治36年に各地区の尋常小学校が合併されて高鷲尋常高等小学校が発足してから満百年を迎えました」と祝辞(一部)を書かれています。高鷲文化財保護協会として『高鷲の学校史』としてまとめたものを編年体形式で紹介します。

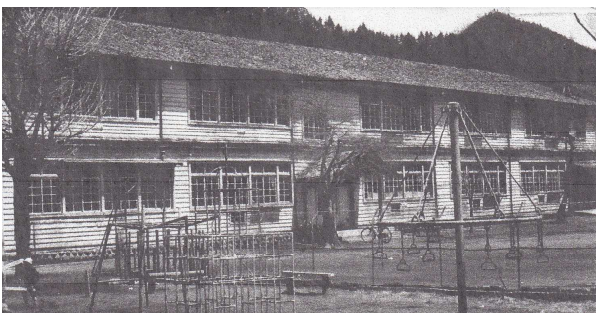
年度	高鷲の学校史
明治5年8月	新政府より学制頒布。「今より一般の人民、必ず村に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」
明治6年4月	国を8大学区、32中学区、210小学区に分け、高鷲の学区は鮎走聞因寺に本部を置き、他は各集落の寺院に支部を置いたのが学校の始まり。鮎走学校(本部校)西洞学校(法蓮寺本堂)、中切学校(往明寺本堂)、鷲見学校(教願寺本堂)
明治9年8月	大鷲村字中田に大鷲小学校新築。
明治12年9月	学制を廃し、教育令を新たに発布。翌13年に改正教育令を頒布し高鷲は郡上郡内10学区に属し、学校は、鮎走村大鷲村、鷲見村、西洞村の4校とし、切立に分校を置いた。
明治15年	鮎立小学校区より切立を分離し、切立小学校とした。
明治19年4月	小学校令が出され、簡易小学校となる。
明治23年10月	新たに小学校令が公布され、明治26年には各尋常小学校と改称。
明治36年5月	鮎走尋常小学校と大鷲尋常小学校が合併して、高鷲尋常高等小学校となる。
明治41年4月	小学校令の一部改正により、修業年限が6年となり、すべての学校が高鷲尋常小学校になり、鷲見・西洞・切立は分校となる。
明治43年	鮎走教場が分校となる。
明治44年4月	向鷲見地区元白山神社跡に本校校舎、2階建て木造(*②)。
大正元年	西洞分校が同区上野に移築。
大正3年	鮎走分校が大洞に移る。
昭和元年	切立分校、同区笠屋田内に移築
昭和9年	高鷲尋常小学校(校長杉本輝次)校歌制定(*①)
昭和16年	国民学校令により、高鷲国民学校と改称。初等科と高等科に分け義務教育年限を8ヶ年となる。 満州開拓に伴い、高鷲在満国民学校を創設。
昭和20年	4月杉本輝次校長、高鷲在満国民学校長として出向。終戦の後、アメリカから派遣された教育施設により根本的な制度改革がなされる。
昭和22年	制度改革により高鷲国民学校が高鷲小学校及び高鷲中学校が発足。大日分校を経て独立高『大日小学校』となる。
昭和25年	高鷲中学校大日分校が大日中学校になる。切立上野冬期分校設置開校。役場庁舎移転し運動場拡張工事完了。

昭和 26 年	切立に冬だけの分校できる。下地分校校舎新築。鮎走大小洞分校を大洞川左岸白山神社裏手に新築移転。
昭和 28 年	鷺見分校校舎新築
昭和 29 年	西洞分校校舎増改築
昭和 31 年	鷺見上野分校、冬期分校として開校、33年に上野分校となる。
昭和 34 年	鷺見分校、中学を本校に統合
昭和 40 年	大日中学校廃校し高鷺中が校に統合
昭和 41 年	下地下分校廃校
昭和 42 年	本校の新校舎竣工。切立上野分校廃校
昭和 51 年	大小洞分校と切立分校廃校
昭和 52 年	鷺見上野分校廃校
昭和 54 年	高鷺中学校校舎新築移転
平成 3 年	高鷺小学校校舎大規模改修工事完了（*③）
平成 7 年	鷺見・西洞分校廃校式。大日小・西洞分校・鷺見分校が統合し高鷺北小学校となる
平成 15 年 5月	高鷺小学校創立 100 周年を迎え、11月に記念式典
平成 16 年 3月	郡上市誕生

*①高鷺小学校校歌 瀬戸重次郎作曲、河野信一作詞(兩人とも岐阜師範学校教諭)

- | | |
|----------------|------------|
| (1) そらにのびゆる大日の | 奇しき光を仰ぎつつ |
| 村を拓きしそのかみの | 聖徳ぶも尊しや |
| (2) 高鷺村の名に高き | 祖先の樹てし武勲は |
| 今も残りて鷺が岳 | 是ぞ我等の誇りなる |
| (3) 昔を語る城跡を | 朝夕望む学び舎に |
| 集ふ我等は師の君の | 教えをもとに励みなむ |
| (4) 長良の川の水上や | 心も潔き我が郷の |
| 文化すすめて末遠く | 世の光とも仰がれむ |
| (5) 祖先の伝へし生業を | いよ興して我が村を |
| 自ら治め国の為 | 君の為にと尽くしなむ |

*②明治 44 から昭和 41 年までの校舎



*③現在の校舎

